

## 介護福祉士国家試験 従事日数内訳証明書の様式と記入方法

- 次ページからの全3ページは、第34回介護福祉士国家試験『受験の手引』の抜粋です。
- 証明権限を有する方に記載例のページを参照し、作成してもらってください。
- 従事日数内訳証明書のみを社会福祉振興・試験センターに提出しても、**介護福祉士国家試験の受験申し込みをしたことにはなりません**のでご注意ください。

(受験申し込み手続き方法については、ホームページで確認してください)



## ● **「従事日数内訳(見込)証明書」(指定様式:75・77ページ)**

(同じ期間に複数の事業所に所属している方が実務経験証明書に加えて、提出するもの)

### ア 証明書作成上の注意

- (ア) 証明書作成者は、証明に必要な期間を受験者に確認してください。
- (イ) 作成する場合は、出勤簿等に基づいて作成してください。
- (ウ) この期間内で介護従事日数が0日であった月でも省略せずに0日として作成してください。
- (エ) 記載内容を訂正する場合は、必ず証明権限を有する代表者の職印で訂正してください。修正液等で訂正したものは証明書として無効となりますので、注意してください。
- ※ 受験者は証明の必要な期間を自身でよく把握して、証明書作成者に依頼してください。

この証明書だけでは実務経験の証明にはなりません。必ず「実務経験証明書」と併せて提出してください。

### イ 従事日数内訳証明書が必要な場合

同じ期間に複数の事業所に所属(掛け持ち)している場合

例	事業所	職種	令和3年					
			1月	2月	3月	4月	5月	6月
	A 訪問介護事業所	訪問介護員	→					
	B 訪問介護事業所	訪問介護員		→				

—ここが掛け持ち—

- ※ 証明する施設事業所: 2か所の訪問介護事業所

↳ この期間のみ「**従事日数内訳証明書**」が必要

提出する書類: 「実務経験証明書」2枚、「従事日数内訳証明書」2枚

〈以下の場合は不要です〉

複数の事業所に所属した経験があっても、同じ期間に所属(掛け持ち)していない場合

例	事業所	職種	令和3年					
			1月	2月	3月	4月	5月	6月
	訪問介護事業所	訪問介護員	→					
	特別養護老人ホーム	介護職員					→	

—掛け持ちしていない—

- ※ 証明する施設事業所: 訪問介護事業所・特別養護老人ホームの2か所

提出する書類: 「実務経験証明書」2枚

### ウ 「従事日数内訳証明書」に記載した期間に実務経験見込期間が含まれている場合

- (ア) 作成期間: 実務経験を満たす日までを記載してください。
- (イ) 再提出: 見込みで証明した期間が経過し、実務経験を満たした時点で、**令和4年4月8日(金)**までに「実務経験証明書」と一緒に、再度、「従事日数内訳証明書」を提出してください。

例

福士さんは2か所の事業所に所属しており、令和3年12月31日で実務経験を満たす予定です。

(株)厚生社 平成31年1月1日～令和3年10月20日  
 (有)平成社 令和3年5月1日～令和3年12月31日  
 【証明書作成日】 令和3年8月25日

事業所	職種	令和3年											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(株)厚生社	訪問介護員												
(有)平成社	訪問介護員												

掛け持ち期間

① 2事業所の「従事日数内訳証明書」を作成する期間

※ 2事業所とも、5月1日～10月20日までの掛け持ち期間の証明が必要です。

② 見込期間が含まれている「従事日数内訳証明書」の作成

【証明書作成日まででなく、2事業所の所属が重複する期間まで従事日数を見込んで作成】

※ 5月1日～8月25日まででなく、5月1日～10月20日まで必要です。

③ 実務経験を満たしたら「従事日数内訳証明書」を改めて作成し提出

※ 見込みで証明した期間が経過し、実務経験を満たした時点で、2事業所とも5月1日～10月20日までの確定した証明書を改めて作成し提出してください（「実務経験証明書」も改めて作成し一緒に提出）。

【記入例】

記入方法 参照ページ 「受験の手引」 34・35ページ  
 使用する筆記具 ボールペン  
 センター記入欄  
のみ  
他

介護福祉士国家試験 従事日数内訳証明書  
 (兼 従事日数内訳見込証明書)  
 必ず事業所の証明書作成者が記入・押印してください。  
 この書類は、同じ期間に複数の事業所に所属している場合に限り、1事業所につき1枚ずつ必要です  
 (実務経験証明書と一緒に提出してください。)

区分 2  
区分 3  
区分 5  
区分 7

令和3年08月25日

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター理事長 様 (証明書作成日) 令和 03年08月25日

法人・施設・事業所名称 (株)厚生社 ○○訪問介護事業所  
 〒11501010 東京都渋谷区渋谷0-0-0  
 電話番号 03-0000-0000  
 代表者 代表取締役 堀 勝  
 証明書作成者 所属・役職等 総務課主任 鈴木千太  
 フリガナ フクシ アイ  
 受験申込者氏名 福士 愛  
 施設または事業所名 A訪問介護事業所

法人格コード (36ページ参照) 04  
 株式会社 厚成印社  
 代表取締役印

昭和 55年5月5日生  
 認印 (鈴木)

計 10日  
 3年5月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年6月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
 3年7月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年8月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

合計 49日

1 従業期間に見込日数が含まれている場合は、従業期間を満たした後、令和4年4月8日(金)(消印有効)までに実務経験証明書と一緒に、改めて提出してください。期日までに提出されない場合は、試験が無効となります。  
 2 記載事項を訂正する場合は、必ず証明権限を有する代表者の職印で訂正してください。修正液等で訂正したものは証明書として無効となります。

施設または事業所名 B訪問介護事業所  
 計 5日  
 3年5月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年6月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
 3年7月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年8月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 3年9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

有限会社 平動成印社  
 代表取締役印

大介  
 認印 (佐藤)

昭和 55年5月5日生  
 平成